

令和元年度 事業報告

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

社会福祉法人明和町社会福祉協議会

目 次

I. 令和元年度社会福祉事業報告

1. 法人運営事業

- 1-①. 理事会
- 1-②. 評議員会
- 1-③. 主な社協事業の状況
- 1-④. 職場内会議・研修

2. 社会福祉事業の普及啓発

- 2-①. 地域福祉活動計画の推進
- 2-②. 地区福祉委員会の活動助成（自治会長・民生児童委員）
- 2-③. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯の交流（おでかけ交流会）
- 2-④. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯等への歳末見舞い
- 2-⑤. 広報誌の発行
- 2-⑥. 社協ふれあい祭りの実施
- 2-⑦. 明和町社会福祉協議会会長表彰

3. 各種運動の推進・寄附金

- 3-①. 日本赤十字社募金運動
- 3-②. 社協会員増強月間
- 3-③. 赤い羽根共同募金運動
- 3-④. 歳末たすけあい運動
- 3-⑤. 寄附金（社協・ありんこ）

4. 福祉用具等の貸出に関する事業

- 4-①. 福祉機器等の貸出（ベッド・車いす）
- 4-②. バザー用品等の貸出
- 4-③. 祭壇の貸出事業（祭壇・天幕・鯨幕）
- 4-④. 地域コミュニティ一備品貸出事業

5. 地域支え合い体制づくり事業

- 5-①. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯等の実態調査事業
- 5-②. いきいきサロン支援事業
- 5-③. 介護支援ボランティア活動推進事業（高齢者有償ボランティア活動ポイント支援事業）
- 5-④. めいわサポーター【めいサポ】活動推進事業
- 5-⑤. 配食サービス事業
- 5-⑥. 軽度生活援助事業（ひとり暮らし高齢者に対する軽易な日常生活援助）

5-⑦. 災害ボランティアの育成

6. 介護者支援に関する事業

- 6-①. 家族介護者支援対策事業（低所得者紙おむつ券給付事業）
- 6-②. 寝たきり高齢者等紙おむつ券給付
- 6-③. 重度障がい者日常生活用品（紙おむつ券）給付
- 6-④. 生活保護受給者食事料金援助事業
- 6-⑤. 家族介護教室

7. くらしの相談・支援事業

- 7-①. 心配ごと相談事業
- 7-②. 福祉なんでも相談（社協の総合相談）
- 7-③. 成年後見制度に関する事業
- 7-④. 日常生活自立支援事業（権利擁護）
- 7-⑤. 生活困窮者自立支援事業
- 7-⑥. みえ福祉の「わ」創造事業
- 7-⑦. 生活福祉資金の貸付
- 7-⑧. 地域福祉金庫の貸付

8. 福祉教育に関する事業

- 8-①. umouプロジェクト
- 8-②. 福祉協力校の設置
- 8-③. 福祉体験教室
- 8-④. ボランティア・サマースクール

9. ボランティアセンター運営事業

10. 一般介護予防事業

- 10-①. えんがわ教室
- 10-②. 筋力・脳力あっぷ教室

11. 介護予防・生活支援サービス事業

- 11-①. 通所型サービスC（おとなチャレンジ教室）

12. 地域生活支援事業（障害者総合支援法）

- 12-①. 手話奉仕員養成研修事業

- II. 令和元年度各事業利用実績
- 1. 居宅介護支援事業プラン作成実績
- 2. 高齢者通所介護事業利用実績
- 3. 障がい者福祉サービス事業（ありんこ）利用実績
- 4. 地域活動支援センター事業利用実績
- 5. 指定特定相談支援事業所サービス等利用実績

令和元年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会

事 業 報 告

I. 令和元年度社会福祉事業報告

1. 法人運営事業

1-①. 理事会

開催日	議案・承認
平成31年 4月 9日	第1回 ① 社会福祉法人明和町社会福祉協議会理事の選任について
4月23日	第2回 ① 社会福祉法人明和町社会福祉協議会重要人事について ② 社会福祉法人明和町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
令和 元年 5月 30日	第3回 ① 専決処分した事項の承認について 平成30年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第2号収支補正予算 ② 平成30年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会事業報告について ③ 平成30年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会収支決算認定について ④ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦及び、評議員選任・解任委員会の招集について ⑤ 令和元年度（2019年度）社会福祉法人明和町社会福祉協議会第2回評議員会の開催について
6月 17日	第4回 ① 社会福祉法人明和町社会福祉協議会 会長、副会長の選任について
11月 19日	第5回 ① 専決処分した事項の承認について 令和元年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第1号収支補正予算 ② 社会福祉法人明和町社会福祉協議会臨時職員等就業規程の一部改正について ③ 令和元年度（2019年度）社会福祉法人明和町社会福祉協議会第3回評議員会の開催について

令和 元年 12月10日	第6回 ① 社会福祉法人明和町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦及び、評議員選任・解任委員会の招集について ② 令和元年度（2019年度）社会福祉法人明和町社会福祉協議会第4回評議員会の開催について
12月23日	第7回 ① 社会福祉法人明和町社会福祉協議会副会長の選任について
令和 2年 3月17日	第8回 ① 専決処分した事項の承認について 令和元年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第2号収支補正予算 ② 令和2年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会事業計画について ③ 令和2年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会収支予算について ④ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会定款の一部改正について ⑤ 令和元年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第5回評議員会の開催について

1-②. 評議員会

開催日	議案・承認
平成31年 4月15日	第1回 ① 社会福祉法人明和町社会福祉協議会理事の選任について
令和 元年 6月17日	第2回 ① 専決処分した事項の承認について 平成30年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第2号収支補正予算 ② 平成30年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会事業報告について ③ 平成30年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会収支決算認定について ④ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会理事及び監事の選任について
11月26日	第3回 ① 専決処分した事項の承認について 令和元年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第1号収支補正予算 ② 社会福祉法人明和町社会福祉協議会臨時職員等就業規程の一部改正について
12月10日	第4回 ① 社会福祉法人明和町社会福祉協議会理事の選任について

令和2年 3月25日	第5回 ① 専決処分した事項の承認について 令和元年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会第2号収支補正予算 ② 令和2年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会事業計画について ③ 令和2年度社会福祉法人明和町社会福祉協議会収支予算について ④ 社会福祉法人明和町社会福祉協議会定款の一部改正について
---------------	---

1-③. 主な社協事業の状況

開催日	事 項	開催場所
平成31年 4月19日	ボランティアセンター連絡協議会定例会	
令和元年 5月16日	監事監査	
24日	大淀地区福祉委員会	大淀会館
6月 4日	斎宮地区福祉委員会	いつき会館
7日	明星地区福祉委員会	明星会館
11日	上御糸地区福祉委員会	ふれあい会館
18日	下御糸地区福祉委員会	みいと会館
7月12日	家族介護教室①（認知症）	
15日	社会を明るくする運動「組立飛行機選手権大会」	多気スポーツ公園
31日	サマースクール開催（手話体験）①	
8月 1日	家族介護教室②（介護者のメンタルヘルス）	
8日	サマースクール開催（手話体験）②	
24日	社協ふれあい祭り	
9月12日	家族介護教室③（介護サービスのしくみ）	
30日	家族介護教室④（福祉用具・住宅改修）	
10月 4日	斎宮小学校福祉体験教室	斎宮小学校
7日	家族介護教室⑤（施設見学ツアー①）	
16日	三重県社会福祉大会	県総合文化センター
18日	上御糸小学校福祉体験教室	上御糸小学校
20日	明和町敬老福祉大会	総合体育館
21日	家族介護教室⑥（施設見学ツアー②）	
25日	おでかけ交流会	
令和2年 1月20日	大淀小学校福祉体験教室	大淀小学校
25日	協議体講演会	中央公民館

1-④. 職場内会議・研修

会議・研修名・講師	参加職員
●職場内会議 ・運営会議（月1回） ・連携会議（月1回） ・行事委員会（全8回） ・資質向上委員会（全8回）	会長・局長・次長・課長 次長・課長・係長 担当職員 担当職員
●職場内研修 ・管理職研修 ～上司力を發揮して、より良い組織を作る～ 講師：株式会社インソース講師 服部正信 氏	係長以上
・ハラスメント防止研修 ～ハラスメントのない職場づくりのために～ 講師：三重県男女共同参画センター 「フレンテみえ」 職員 服部亜龍 氏	全職員
・心肺蘇生法・AED研修 講師：松阪地区広域消防組合 職員	全職員
・職業倫理研修 ～社協職員としての地域福祉活動計画での役割～ 講師：社会福祉法人菰野町社会福祉協議会 元常務理事 福田雅文 氏	全職員
・ワークライフバランス研修 ～心の健康を守るワーク・ライフ・バランスとは？～ 講師：三重県男女共同参画センター 「フレンテみえ」 職員 安川真由美 氏	全職員
・コミュニケーションスキル研修 ～カードツールを使った相互理解力研修～ 講師：NPO法人 Mブリッジ 協働コーディネーター 石丸 隆彦 氏	全職員
・福祉防災計画策定研修① 講師：一般社団法人福祉防災コミュニティ協会 上級コーチ 湯井 恵美子 氏	全職員

・ヒヤリハット研修 ～ヒヤリハット（気づき）でより良い関わりへ～ 講師：宮川福祉施設組合 養護老人ホーム 崇雲寮 寮長 橋本 直 氏	全職員
・腰痛予防研修 講師：ヨガスタジオプラーナ 藤原由佳里 氏	通所介護・生活介護 職員

2. 社会福祉事業の普及啓発

2-①. 地域福祉活動計画の推進

事業目的	社会福祉協議会は、地域に暮らす人々がそれぞれに役割を持ち、お互いに支え合いながら、その人らしく活躍できる地域社会を育成し、公的なサービスの利用だけではなく、地域住民が得意分野を活かしながら助け合い暮らすことのできる仕組みを、住民が主役となる「地域福祉活動計画」として策定し、ともすると「他人事」になりがちな地域で起こる日常の出来事を、地域に暮らす人々が「我が事」として主体的に関わっていける仕組みを作っていくとともに、地域の支援と、公的なサービスへのつなぎを含めた「丸ごと」の相談体制の整備を進めています。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ●地域福祉計画策定・推進委員会、地域福祉活動計画策定・推進委員会 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 10月 1日 <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉計画・地域福祉活動計画について ・5年間のスケジュールについて ・愛称募集について ・明和町地域福祉連絡会議について ●地域福祉連絡会議 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 3月 19日 <ul style="list-style-type: none"> ・連絡会議の定期開催について ・災害時の個別避難計画作成推進に取り組むにあたっての意見交換 <p>出席機関名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉ほけん課 介護障がい係 介護担当/障がい担当 地域福祉係 ・防災企画課 防災係 ・人権生活環境課 環境・住民協働係 住民協働担当

	<ul style="list-style-type: none"> ・健康あゆみ課 　　まるごと相談支援係　包括担当/総合相談支援担当 　　包括支援センター 　　障がい者生活支援センター ・明和町社会福祉協議会 　　総務・地域福祉課　地域福祉係
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●愛称募集を通じて、地域福祉計画・地域福祉活動計画を町民に広く広報することができました。 ●町の一部の課と社会福祉協議会の担当者で、地域福祉連絡会議を開催することができました。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉協議会の具体的な実施計画が策定できていないため、今後策定をすすめていく必要があります。 ●本計画内でこの計画を推進していくために、行政担当課と社会福祉協議会の連絡会議を定期的に実施することで、さらなる連携と協力を図り、具体的な活動を進める必要があります。

2-②. 地区福祉委員会への活動助成（自治会長・民生児童委員）

事業目的	地域の生活環境のなかで、個人の力ではどうにも解決できない問題を、住民一人一人が地域ぐるみで実践するための組織づくりを行います。						
事業実績	配分金（円）						
	大淀	上御糸	下御糸	斎宮	明星	合計	
令和元年度	62,930	75,140	70,565	107,135	84,230	400,000	
平成30年度	60,215	77,675	69,695	98,300	94,115	400,000	

2-③. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯の交流（おでかけ交流会）

事業目的	日帰り旅行を行うことにより、日々の暮らしの様子や生活課題はないかなどの確認や、旅行を楽しみに生きがいを持って生活していただくことを目的としています。						
事業実績	参加人数（人）						
	大淀	上御糸	下御糸	斎宮	明星	合計	
令和元年度	21	6	4	38	30	99	
平成30年度	21	8	4	38	39	110	

事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●日頃遠出や買物の機会が少ない参加者に喜ばれ、地域の方との交流も楽しんでいただいています。旅行先の鳥羽方面は近距離で移動時間も短いため、高齢の方にも身体面の負担が少なく参加していただけました。物価の上昇に伴い、参加費を増額して参加募集を行いました。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●参加対象者は増加傾向にあり、今後も経費は高騰していくことが予想される為、再度参加費の増額を検討する必要が見込まれます。 ●限られた時間の中で参加者同士がよりよい交流が出来るよう、旅行先の選定等内容についても、安全で喜ばれる事業にしていかなければなりません。 ●70歳以上のひとり暮らし、高齢者世帯を対象としていますが、その中でも自力でバスの乗降ができる等、参加条件が一部限定されるところがあります。

2-④. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯等への歳末見舞い

事業目的	ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯などの方々に個別訪問を行い、見舞品を配布しつつ安否確認を行います。				
事業実績	配布数（個）				
	対象者	要援助世帯	ひとり暮らし 高齢者	高齢者世帯	合 計
	令和元年度	49	537	494	1,080
	平成30年度	48	548	454	1,050
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●年々ひとり暮らし高齢者、高齢者ともに増加傾向です。要援助者世帯（ねたきり高齢者、認知症高齢者、ひきこもり等その他援助が必要と思われる世帯）においても増加傾向です。 ●見舞品の配布をきっかけとした訪問活動を通じ、対象高齢者の安否確認、現況把握ができ、民生委員の方との信頼関係構築につながっています。 				
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も対象となる世帯は引き続き増加傾向をたどると予想され、募金額の減少に伴い、財源の確保も検討する必要があります。 ●対象者の中には事業目的に理解が得られず、調査に協力が得られないケースがあり、把握出来ていない対象者もあります。 ●要援助者世帯について、プライバシーの問題が生じ、把握が難しいケースがあります。 				

2-⑤. 広報誌の発行

事業目的	住民の皆さんに、社協の様々な活動内容をご理解いただくとともに、地域福祉活動に積極的に参加するための情報提供を行います。
事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ●「社協だより」 年4回発行・社協の活動紹介 基本理念、事業実施計画（重点取り組み項目）、収支予算、収支決算、町内企業CSR活動紹介（河田フェザー株・たなか建築）、サロン活動紹介（なかよしグループ・明星おしゃべり会）、功労者表彰、寄附金・寄附物品報告、赤い羽根共同募金贈呈式、募金活動報告、ふれあい祭り、災害ボランティア養成講座案内 ●「広報めいわ」に「社協だより」コーナーを掲載 CSR・SDGs紹介、UMOUプロジェクト、バザー用品・地域コミュニティ備品貸出、日赤社資・赤い羽根共同募金活動御礼、筋力脳力あつぶ教室、家族介護教室、ふれあい祭り、生活援助従事者研修案内、ひとり暮らし高齢者等実態調査、地域福祉計画・地域福祉活動計画愛称募集、福祉出前講座、ふれあいレクリエーション、ライブスペース勢の！in 明和、ボランティアセンターだより「てとてを」（カフェ寺ス・カウルアアラピカケ・ギターと篠笛を楽しむ会）、子ども食堂インスタグラム

2-⑥. 社協ふれあい祭りの実施

事業目的	日頃、ボランティアなどに従事している各福祉団体や、ボランティア団体、社会福祉施設に参画いただき協同の輪をひろげるとともに、福祉に関わる機会の少ない地域の皆さんに、楽しみながら福祉を身近に感じていただける機会をつくります。地域の皆さんと交流し、社協が実施している事業や、ボランティア活動、募金運動など、地域の皆さんにひろく福祉について関心を持っていただく事を目的としています。
令和元年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・会長表彰並びに感謝状授与式 ・ステージ発表【明和中学校（吹奏楽部）、ゆたか保育園盆踊り、ぱる♪、FreeZ NOTE、輝風、ありんこ、業平夢太鼓、北野友楽クラブ、フィナーレ（みんなでうらじや音頭）】 ・子ども食堂支援募金活動（明和中学校ボランティア部） ・自立相談支援事業啓発（三重県生活相談支援センター） ・UMOUプロジェクト啓発 ・福祉スタンプラリー【手話体験、点字体験、パラスポーツ体験（車椅子バスケ、フライングディスク）】 ・ふるまい【ながしそうめん】 ・缶ぽっくり作りコーナー ・縁日コーナー【輪投げ、魚釣ゲーム、ストラックアウト、おじやみ投げ、ゲーゴル、玩具金魚すくい】

	<ul style="list-style-type: none"> ・ちびっこ子ども広場【遊び場、イラストコーナー、鉄道模型操作体験、保護者向けハンドマッサージ】 ・ウォーリーを探せ（イベント回りゲーム） ・夜店【ドリンク、ポップコーン（わだち）・綿菓子（FreeZ NOTE）・焼きそば（エヌベントジャパン株式会社）】＊（ ）内、協力団体 ・バルーンアート ・菓子まき ・café 茶々（ありんこ）販売【カレーライス、かき氷、唐揚げ、サーティアンダギー、フランクフルト】 ・販売【母子寡婦福祉会、南勢就労支援センター、第二南勢就労支援センター、さにいさいど、あざふるさと、ベーグルファンズ、ぎゅーとら、ありんこ】
平成 30 年度 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・会長表彰並びに感謝状授与式 ・ステージ発表【明和中学校（プラスバンド部）・ゆたか保育園盆踊り・業平夢太鼓（演奏、太鼓体験）・北野友楽クラブ盆踊り・ありんこ（ダンス）】 ・福祉スタンプラリー【手話体験・点字体験・パラスポーツ体験（車椅子バスケ、フライングディスク】 ・ふるまい（ながしそうめん） ・縁日コーナー【ヨーヨー釣り、輪投げ、ストラックアウト、ゲーゴル、射的、もぐらたたき】 ・あんまコーナー ・ちびっこ子ども広場【遊び場、マジックコーナー、イラストコーナー】 ・夜店【フランクフルト、やきそば、ポップコーン、かき氷、ドリンク】 ・café 茶々販売【からあげ、フライドポテト、あげたこ、カレー】 ・販売【あざふるさと、第 2 南勢就労支援センター、ベーグルファンズ、ぎゅーとら】 ・明和町写真コーナー ・UMOU プロジェクト啓発 ・バルーンアート ・菓子まき
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度は昨年同様、開催時期を夏にし、夕方から夜にかけて開催しました。当日は天候が不安定であった為、急遽ステージ発表は屋内で、多くのイベントを屋外で開催しつつも、夏祭りの雰囲気を地域の皆様と楽しむことに重点を置き、地域の皆様のご協力を得て、開催する事が出来ました。 ●例年好評の縁日コーナー、夜店コーナー、販売コーナーは昨年度以上に準備数を増やし、多くの協力ボランティアさんに協力していただく事で、多くのお子様連れのご家族にご参加、ご利用いただきました。

	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年度実施し好評をいただきましたスタンプラリーとちびっこ子ども広場は、ボランティアさんのご協力を得て、鉄道模型操作体験やハンドマッサージ等内容の充実を図る事が出来ました。お子様連れのご家族が多くご来場いただけ、日頃福祉に触れる機会の少ない住民の皆様にも啓発が行えました。 ●ステージ発表も出演団体を大幅に増やし、より多くの団体さんに日頃の活動の成果を披露していただく機会として活用してもらう事ができました。 ●昨年度から明和町で取り組まれている「子ども食堂」活動に対する募金協力の呼びかけを、明和中学校ボランティア部の生徒の皆さんとの実施してもらい、多くの募金を集める事ができました。 ●子ども広場のイラストコーナーで募集したイラストはサービス付高齢者住宅「憩」「翔」様へ掲示させてもらい、入居されている利用者様にご観覧頂きました。 ●概算で 1500 名を超えるご来場を頂き、多くの皆様に啓発ができました。 ●各企画に対して、下記の通り多くの福祉団体、関係機関、企業、団体個人ボランティア等総勢 100 名を超える皆様に参画いただき、協同の輪がひろがりました。 <p>・福祉スタンプラリー (手話サークル様、明和町点字サークル様、皇學館大学学生ボランティアの皆様) ・縁日コーナー (一般ボランティアの皆様、皇學館大学学生ボランティアの皆様) ・ちびっこ子ども広場 (ナリスコスマティック様、地域ボランティアの皆様) ・夜店 (わだち様 (障がい者の親の会)、FreeZNOTE 様、地域ボランティアの皆様) ・缶ぼっくり作りコーナー (まちかど博物館「竹若舎」サポーターの皆様) ・ながしそうめん (竹の都様、一般ボランティアの皆様) ・ゆるキャラ (いせわんこ様) ・浴衣着付け (北野友楽クラブ有志の皆様、地域ボランティア様) ・会場設営、ステージアシスタント (北野友楽クラブ有志の皆様、FreeZNOTE 様) ・撤去作業 (エヌベントジャパン株式会社有志ボランティアの皆様) ・景品、参加賞等 (株式会社イセツ様、匿名希望の協力者様)</p>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●社協ふれあい祭りを通してさらに地域の皆様との交流を深め、協同の輪をひろげる事で、「福祉のまちづくり」を共に推進する体制構築に繋がる事が期待されます。 ●社協職員が企画開催をするのではなく、将来的には地域住民の皆さんと協同で企画開催できるように実行委員会を組織するなど、地域と一体的なお祭りになる事が期待されます。 ●社協の事業を始め、さまざまな福祉活動や福祉資源の情報が、適切に来場者に届くように内容を検討していく必要があります。 ●来場者が福祉に関心をもってもらえる内容を検討するとともに、あらゆる世代の方々の福祉ニーズをキャッチできる形を検討していく必要があります。 ●明和町で活躍されている老人クラブ連合会、民生児童委員、サロン団体等、日頃から当協議会の事業にご協力いただいている関係機関・団体様のご参画の機会を創出する事で、ひろく住民の皆様へ情報発信をし、福祉のまちづくりを進めていく必要があると考えられます。

2-⑦. 明和町社会福祉協議会会長表彰

事業目的	地域福祉の推進に多年活動を続け、その功績があった方、その他広く福祉の増進に功労のあった方に対し、会長がこれを表彰し、また感謝の意を表し、その功績を讃えるとともにあわせて地域福祉活動の発展に寄与することを目的としています。		
事業実績	令和元年度	会長表彰・感謝 地域福祉功労者 5名 ボランティア活動功労者 1団体 地域福祉活動協力功労者 1名	
	平成30年度	会長表彰・感謝 地域福祉功労者 2名 (明和町社会福祉協議会40周年記念行事)	

3. 各種運動の推進・寄附金

明和町 自治会数	令和元年度	96
	平成30年度	94

3-①. 日本赤十字社募金運動（1世帯 500円程度）

区分		一般社資 (自治会数)	合計
募金額 (円)	令和元年度	1,341,415 (74)	1,341,415
	平成30年度	1,401,764 (74)	1,401,764

3-②. 社協会員増強月間（一般 300円 特別 1,000円程度）

区分		一般賛助会員 (自治会数)	特別賛助会員 (件数)	合計
募金額 (円)	令和元年度	932,859 (73)	0 (0)	932,859
	平成30年度	959,454 (71)	0 (0)	959,454

3-③. 赤い羽根共同募金運動（1世帯 500円 法人 3,000円程度）

区分		一般募金 (自治会数)	法人募金 (法人数)	職域募金	イベント募 金・街頭募 金・募金付自 販機 他	羽毛 回収	合計
募金額 (円)	令和元年度	1,107,450 (68)	314,000 (118)	39,242	243,416	41,860	1,745,968
	平成30年度	1,194,490 (70)	316,000 (125)	42,812	84,086	40,093	1,677,481

・職域募金（明和町役場・明和消防署・百五銀行株・河田フェザー株・三重電子株・明和中学校・明和町社会福祉協議会）

・イベント募金・募金付自販機・街頭募金（イオン明和店・スーパーサンシ明和店・ぎゅーとら明和店）

3-④. 歳末たすけあい運動（1世帯 200円 法人 1,000円程度）

区分		一般募金 (自治会数)	法人募金 (法人数)	その他 (個人・職域)	合計
募金額 (円)	令和元年度	712,240 (70)	123,000 (114)	25,000 (個人・職域)	860,240
	平成30年度	685,616 (73)	157,710 (123)	30,800 (個人・職域)	874,126

3-⑤. 寄附金（社協・ありんこ）

区分		件数(件)	金額(円)・物品名
寄附金	令和元年度	19	452,232
	平成30年度	14	422,721
寄附物品	令和元年度	16	新米60kg、白米30kg、玄米90kg、絵本その他書籍200冊、老人車1台、クリスマスプレゼントお菓子60セット、紙パンツ、花の寄せ植え、胚芽精米5kg×1他食料品、お菓子48箱 他、手編みの手袋、マフラー 他
	平成30年度	13	新米60kg、玄米30kg、車いす1台、サーチュレーター1台、温湿度計1台、一番茶2.2kg、お菓子詰め合わせ200袋、クリスマスプレゼントお菓子58セット、ゴミ袋65袋、ボックスティッシュ37箱、入浴剤5缶、紙パンツ、花の寄せ植え

4. 福祉用具等の貸出に関する事業

4-①. 福祉機器等の貸出（ベッド・車いす）

事業目的	日常生活に支障をきたしている方に対して、福祉用具を貸出することにより、在宅介護の支援を行います。			
事業実績	種 別	保有数（台） (貸付数：3月末)	延べ申請数（台）	
	車 椅 子	1 6 (4)	令和元年度	4 0
			平成 30 年度	4 0
	ベ ッ ド	8 (なし)	令和元年度	1
			平成 30 年度	1

4-②. バザー用具等の貸出

事業目的	野外活動や町内各種イベント及び祭りを開催する団体・グループ・自治会などに貸出しし、その収益を福祉のまちづくり資金や各種募金活動の資金にすることを目的としています。			
事業実績		貸出件数（件）		
		焼き鳥器・・・2	テント・・・19	わたがし機・・・6
		焼きそば機・・・4	かき氷機・・・16	たこ焼き機・・・0
ポップコーン機・10				
	令和元年度	焼き鳥器・・・2	テント・・・7	わたがし機・・・7
		焼きそば機・・・6	かき氷機・・・13	たこ焼き機・・・1
ポップコーン機・9				

4-③. 祭壇の貸出事業（祭壇・天幕・鯨幕）

事業目的	町民の便宜を図り、併せて生活改善の啓発に役立てることを目的としています。			
事業実績	保有数（台） (貸付数：3月末)		延べ申請数（台）	
	2 (なし)	令和元年度	0	
		平成 30 年度	0	

4-④. 地域コミュニティー備品貸出事業

事業目的	住民で組織する団体等が行う地域社会活動を支援し、地域コミュニティーの活性化と自主的な社会貢献活動を促進するため、地域コミュニティー備品を貸出します。		
事業実績		貸出件数（件）	
	令和元年度	公式わなげセット・・・・3	ディスゲッター9・・・・1
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●サロン活動での備品の活用件数は0件でしたが、地域に出向いた際のPRにより自治会の夏祭り等で活用されました。 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●サロンへの訪問時に障がい者も共に楽しめる「ボッチャ」などの競技を実際に紹介・体験してもらい、競技への興味を持つてもらう働きかけが必要です。 ●いきいきサロン支援事業や自治会のイベントでのニーズを反映して、貸出物品メニューの再検討をする必要があります。 		

5. 地域支え合い体制づくり事業

5-①. ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯等の実態調査事業

事業目的	民生委員・児童委員と協働し、訪問、声かけ、安否確認などの活動を通じて、担当区域内の住民の実態やあらゆる福祉ニーズを日常的に把握します。また地域の行事や会合などにも参加し、情報収集に努めます。			
事業実績		要援助世帯	ひとり暮らし高齢者	高齢者世帯
	令和元年度	49	540	494
	平成30年度	49	553	455
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●年々対象となる世帯は増加傾向です。今後も増加すると予想されます。 ●要援助世帯（ねたきり高齢者・認知症高齢者・ひきこもりその他援助が必要と思われる世帯）においては昨年度と世帯数の変化はみられませんでしたが、今後増加傾向をたどると予想されます。 			合計 1,083 1,057
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる世帯は年々増加しており、引き続き増加傾向をたどると予想されます。 ●対象者の中には事業目的に理解が得られず、調査に協力が得られない方があり、状況を把握出来ていない対象者もあります。 ●要援助者世帯についても個人情報保護の問題以外にも、プライバシーに配慮した調査を実施する必要があり、把握が難しいケースが出てくると予想されます。 			

5-②. いきいきサロン支援事業

事業目的	高齢者の外出を促し、集える拠点として公民館を整備し、ボランティアを中心としたサロン活動を行うことで介護予防につなげるとともに、世代を超えた地域住民同士の支え合いの体制を構築することを目的とした事業の活動支援を行います。			
事業実績	31年度 (57会場)	開催回数 月10回以上：2 週2回：1 週1回：7 月2回：11 月1回：25 その他不定期 ：11	活動時間 2時間：19 3時間：11 4時間：5 5時間：4 6時間：4 その他：14	活動内容 カラオケ、ゴーゴー体操、ラジオ体操、グランドゴルフ、クロリティー、ペタンク、輪投げ、ハイキング、脳トレ、講話、食事会、茶話会、お花見、料理、忘年会、新年会、子供会への協力、自治会行事への協力、公園掃除、墓地掃除、踊り、囲碁、将棋、麻雀、俳句、手芸、太極拳、お菓子づくり、地元の歴史を学ぶ、町内バスによる町内観光、健康ひろば、ゴキブリ団子作り、大正琴、マジックの鑑賞等々
	30年度 (27会場)	月10回以上：1 週2回：1 週1回：2 月2回：7 月1回：15 年4回：1	2時間：11 3時間：9 4時間：1 5時間：2 6時間：4	カラオケ、ゴーゴー体操、ラジオ体操、グランドゴルフ、クロリティー、輪投げ、ハイキング、脳トレ、講話、食事会、茶話会、お花見、忘年会、子供会への協力、自治会行事への協力、踊り、囲碁、将棋、麻雀、お菓子づくり、地元の歴史を学ぶ、町内バスによる町内観光、健康ひろば、ゴキブリ団子作り、大正琴、マジックの鑑賞
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●生活支援コーディネーターやボランティアコーディネーターが、地区民生委員をはじめとする皆さんにひろく情報収集を行う中で、従来からある老人会活動から広がったサロンだけでなく、自主的に集いサロン活動を継続的に実施している団体も多く発掘され、新たなサロン団体の立ち上げ支援も実施できました。 ●得られたサロン情報をもとに、多くのサロンを訪問する事でそれぞれのサロンの特徴や強み、課題など、具体的な情報収集ができました。 			

	<ul style="list-style-type: none"> ●課題に関連し、昨年度に引き続き、後継者不足や役員の負担、代表者の体調不良などで、開催できなくなったサロンがあります。 ●サロンの継続的開催に係る費用面で課題を抱えている団体が少なからず存在している事が把握され、支援機関と連携しながら茶菓子提供支援等を試験的に始め、好評いただいているいます。 ●各サロンを訪問し、関係性を構築していく中で、助言を求められたり講師派遣のご相談を頂くなど、それぞれのサロンが継続的に活発化していく支援が少しずつできつつあります。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●カラオケ機器のメンテナンス費用、新曲の購入費など活動費用の捻出に困られているサロンがあり、今後の支援を検討する必要があります。 ●代表者や役員のみに負担が偏りがちなサロンが多いため、参加者全員で役割分担をしたり、地域のボランティアの力を借りたりして、安定したサロン運営ができるように支援をしていく必要性を感じています。 ●昨年度は講演会を開催し、同時にサロン同士の交流を図りました。各サロン活動のなかでも、課題や悩み、地域に向けてアピールしたい事などがあることが把握されましたので、来年度以降さらに、それぞれのサロン同士の交流の場として課題や悩みの共有、有効な情報収集の場づくりを検討する必要があります。 ●引き続き、趣味や関心を持った方々が自治会等の枠を超えて集える「つどいの場」として開催されるサロンの訪問を継続し、情報提供やコーディネート等、必要に応じた支援に努めます。 ●特に老人会主催のサロン活動は、世代交代に課題が大きく存在している事が具体的に掴めきました。単位老人会の活動支援と併せて、次の世代の方を巻き込む方策を住民の皆さんと協議する場をつくる必要性があります。

5-③. 介護支援ボランティア活動推進事業

(高齢者有償ボランティア活動ポイント支援事業)

事業目的	元気な高齢者が特別養護老人ホーム等でボランティア活動を行うことにより、本人の健康増進や介護予防につなげること、社会参加、地域貢献を通じた生きがいづくりを促進することを目的としています。			
事業実績	/	登録数	ポイント 転換交付数	活動事業数
	令和元年度	99名	1,430P	16事業
事業評価	●高齢化により限られた活動をしているボランティア団体が、手帳をもっていることで登録事業所のボランティア活動に参加する事につながっています。			

	<ul style="list-style-type: none"> ●登録者の中には高齢になり、あまりボランティア活動を活発にしていないため、登録をしている意義がわからないという声もありましたが、手帳をもっていることで、ボランティア活動参加へのきっかけとなり、継続登録いただいた方が2名いらっしゃいます。 ●開催回数が多い事業で活動しているボランティアは、年間のポイント転換交付時期に期限切れになり、転換出来ないポイントが出てくることが予想されます。 ●登録する事で、ボランティア活動保険に加入するため、ボランティアも登録事業所の施設も安心してボランティア活動が出来ています。
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> ●活動回数が多く、ポイント転換交付時に期限切れになってしまうポイントを持つボランティアに対して、ポイント転換交付以外の評価を検討する必要があります。 ●昨年度に引き続き、新しい登録事業所を増やし、ボランティアが活躍できる場を開拓していく必要があります。

5-④. めいわサポーター【めいサポ】活動推進事業

事業目的	地域のあらゆる住民がそれぞれ役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティーを育成し、福祉などの地域の公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる仕組みを構築することを目的としています。			
事業実績		登録者数	ポイント転換交付数 * () 内、未転換 ポイント数	活動事業数
	令和元年度	16名	2,080 (264)	4事業
				平成30年度
				7名
				2,110
				1事業
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年度までは配食サービス事業のみの活動でしたが、今年度は、ゴミ捨て支援、敷地の管理のお手伝い、又子ども食堂支援事業への活動参加も含め、4事業に拡大し活動が展開されています。 ●サポーター登録者数も昨年度に比べ倍以上に増加し、少しづつではありますが活動が広がりつつあります。 ●昨年度に引き続き、地域のサロン等を訪問した際にニーズ調査を実施し、具体的なニーズを抽出する事ができました。 			
事業課題	<ul style="list-style-type: none"> ●今後活動者が住民に広がっていくと、事業内容によってはボランティアポイント制度とのすみ分け、活動者自身へ丁寧に説明しご理解いただく必要がでる場合が想定されます。 ●昨年度に引き続き、配食サービス事業以外の事業への登録者の活動の機会を広げるために、活動へのマッチング成功事例を増やす事が必要となります。 ●事業を拡げていく為に、協力者である登録数を増やしていく必要があります。 ●事業評価におけるニーズ抽出の中で、買い物支援のニーズが非常に多い事が明らかになりました。そういうニーズに対して、どういった方策がとれるか具体的な検討を住民の皆さんと一緒にしていく必要があります。 			

5-⑤. 配食サービス事業

事業目的	高齢者の居宅に配食を行うことにより、食生活の改善、健康維持及び配達時の見守りによる孤独感の解消を図るとともに、自立した在宅生活を支援することを目的としています。	
事業実績	延べ利用人数（人）	
	令和元年度	95
	平成30年度	88

5-⑥. 軽度生活援助事業（ひとり暮らし高齢者に対する軽易な日常生活援助）

事業目的	ひとり暮らし高齢者等に対して、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、自立した生活を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止することを目的としています。	
事業実績	延べ利用人数（人）	援助内容（重複あり）
	令和元年度	食材の確保（買い物）： 0件 掃除（片付け）： 0件 草とり： 14件
	平成30年度	食材の確保（買い物）： 40件 掃除（片付け）： 0件 草とり： 18件

5-⑦. 災害ボランティアの育成

事業目的	災害時、まず自分の周りの方を助けたり、避難所で活躍したりしていただけるボランティアを養成します。普段から防災・災害に対する意識を住民の皆様にも持つていただけることを目的としています。	
事業実績	参加人数	
	令和元年度	新型コロナウィルス感染防止対策の為中止
事業評価	<p>●今年度は、近年多発している風水害からの生活再建と題して、自主防災組織と地域のボランティアの方、地域のリーダーさんを対象に、台風19号の長野県の動きと、避難所運営と生活再建に向けての一人一人の役割について、平成30年度に引き続き、大阪府立支援学校PTA協議会OB会防災担当の湯井恵美子先生に講演頂く予定でした。</p>	
事業課題	<p>●新型コロナウィルス感染防止対策の為講座が中止になりましたが、内容について30年度と同様にするか再検討する必要があります。</p> <p>●例年、ワークショップを中心に行なうため、事業の開催時期、ウィルスの感染対策を図る必要があります。</p>	

6. 介護者支援に関する事業

6-①. 家族介護者支援対策事業（低所得者紙おむつ券給付事業）

6-②. 寝たきり高齢者等紙おむつ券給付

6-③. 重度障がい者日常生活用品（紙おむつ券）給付

事業目的	在宅で生活している高齢者や障がい者で、常時紙おむつを必要とされている方の経済負担を軽減することを目的としています。			
事業実績		家族介護者支援 対策事業 (5,000 円)	寝たきり高齢者等 紙おむつ券 (3,000 円)	重度障がい者 日常生活用品 (3,000 円)
	延べ 配布枚数 (枚)	令和元年度	186	56
		平成 30 年度	175	74
				156
				125

6-④. 生活保護受給者食事料金援助事業

事業目的	生活保護を受給されている方の中で、デイサービス等を利用されている方に介護保険サービス利用者負担の軽減を図ることを目的としています。	
事業実績		延べ助成人数（人）
	令和元年度	102
	平成 30 年度	114

6-⑤. 家族介護教室

事業目的	要介護被保険者を介護するものに対し、介護及び介護予防に関する知識及び技術の習得等を行うことで、要介護被保険者の能力の維持向上を図ることを目的としています。
事業実績	<p>第1回：認知症講演会（講義） 「認知症と地域とのかかわり」 株式会社 きらめき介護塾 代表取締役 渡辺哲弘 氏 参加者 62名</p> <p>第2回：「介護疲れの心を軽くするヒント」（講義） 介護者メンタルケア協会 代表 橋中今日子 氏 参加者 50名</p> <p>第3回：介護サービスのしくみや対応について（講話） 明和町社会福祉協議会 主任介護支援専門員 潮田真理 参加者 45名</p> <p>第4回：福祉用具の種類や活用法と住宅改修について 株式会社ライフテクノサービス 伊勢営業所所長 藤原功貴 氏 参加者 32名</p>

	<p>第5回：介護サービス事業所見学ツアー (町内通所施設6ヶ所を見学) 参加者 22名</p> <p>第6回：介護サービス事業所見学ツアー (町内通所施設6ヶ所を見学) 参加者 19名</p>
事業評価	<p>第1回：昨年度に引き続き渡辺哲弘先生に登壇いただきました。当協議会が実施している介護予防教室や、町内の居宅介護支援事業所、通所介護事業所にも広報し、昨年度を上回る参加人数となりました。発症率が最も高いアルツハイマー病の「記憶障害」覚えられないという点に焦点をあて、家族の接し方や、認知症になった隣人友人への地域社会の接し方について、お話しいただきました。認知症になってもご本人の人間性、社会性は変わらないという、認知症への理解が深まりました。</p> <p>第2回：介護疲れ・メンタル面に焦点をあて、講師ご自身の実体験をもとに介護者の心に寄り添うお話しでした。サービスを受ける事で介護者の心が軽くなること、介護者の精神面を支える息抜きの仕方など伝えていただき、参加者の心に響きました。実際に家族を介護している参加者は、自分の胸の内を講師に聞いていただきたいと、講義終了後に講師との面談を待つ方もありました。</p> <p>第3回：介護保険サービスを受けるための基本的な流れについて、順を追って分かりやすく説明させていただきました。介護度によってさまざまなサービスがあること、日頃から地域包括支援センターやケアマネジャーに相談できる事が理解できました。</p> <p>担当された利用者さんを通じ、講師自身が学んだ「ターミナルケア（終末期）」についてのお話しは、介護者がご本人の心・気持ちを意識し、理解を示すことがご本人にとっても自分らしく生きる事につながり、介護者や家族にとっても大切なことであると感じられたようです。</p> <p>第4回：介護保険の制度を活用した福祉用具や住宅改修について、介護度による利用料などについても説明があり、制度を活用すれば住環境が改善されることに参加者は改めて気付かれました。実際に福祉用具に触れ体験することで、使い勝手や身体への負担軽減を体験し、使用される方の想いにもつながっていました。</p> <p>第5・6回：昨年度の通所サービス事業所に加え、以前より参加者からの見学希望の高かった特別養護老人ホーム、サービス付高齢者住宅、ショートステイなど入所施設についても見学を実施しました。施設では歩行をアシストする機械を実際に装着し、自身の身体が少し不自由になってしまっても、身体機能のリハビリに繋がることを体験し驚かれていました。またサービス付き高齢者住宅の見学では実際に入居されている利用者さんの生の声に触れ、介護者、利用者共の立場で参考になったようです。</p>

今後の課題	●参加者の中には、介護を実際している方が、要介護者を伴って参加するケースが増えてきており、開催方法に配慮が必要となっています。
	●現在、介護をされている家族の方にもっと参加していただく為には、町内事業所へのさらなる周知と開催方法の検討が必要です。
	●この事業以外にも、介護者のメンタル面でのケアを図る必要があります。

7. くらしの相談・支援事業

7-①. 心配ごと相談事業

事業目的		日常生活の困りごと、心配ごとの相談、助言を行います。								
事業実績		開設回数（回）			相談件数（件）			来訪者数（人）		
	令和元年度	24			17			17		
	平成30年度	24			13			13		
	相談内容 (件)	生活	離婚	家族	相続	金銭	土地・ 近隣	住宅	その他	合計
	令和元年度	4	0	0	2	3	5	3	0	17
	平成30年度	0	0	0	3	1	10	1	0	15

7-②. 福祉なんでも相談（社協の総合相談）

事業実績 令和元年度	事業目的	「日ごろから気になっていること、心配していることがあるが、どこに相談すればよいのかわからない」など、福祉に関することは社協職員が窓口に『なんでも』ご相談をお聞きしています。					
	相談 方法	電話	来所	訪問	その他	合計	
		12	10	1	2	25	
	相談者	一般住民	民生委員 自治会長	ボランティア 関係	行政	合計	
		10	4	1	1		
		福祉施設 職員	団体関係	その他	えんがわ教室 利用者から	25	
		2	4	1	2		

相談 内容 (重複 あり)	地域生活	敷地管理に関する相談（1）、家族に関する相談（4）、家財処分に関する相談（1）、知人の社会復帰に関する相談（1）			
	ボランティア	地域生活を送る上でボランティア資源の情報問合せ（4）、ボランティア依頼に関する相談（1）			
	団体活動	講師派遣に関する相談（2）			
	福祉サービス 利用	介護保険制度（住宅改修）についての相談（1）			
	社協事業利用	介護予防教室に関する相談（1）、自治会における介護予防教室等紹介の相談（1）、手話講座に関する相談（1）			
	生活困窮者・ 貸付支援	生活費等に関する相談（3）			
	その他	成年後見制度に関する相談（2）、傷害保険に関する相談（1）、医療機関の情報問合せ（1）、法律に関する相談（1）			
平成30年度 事業実績	相談 方法	電話	来所	訪問	その他
		6	7	7	0
	相談者	一般住民	民生委員 自治会長	ボランティア 関係	行政
		6	10	0	1
		福祉施設 職員	団体関係	教育	えんがわ教室 利用者から
		0	0	2	1
					20
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●地域住民からの相談ごとを、社協職員として一人ひとりが窓口となり、福祉なんでも相談として対応したこと、さまざまな疑問や相談内容があることが改めて視覚化できました。 ●関係機関を紹介するだけではなく、関係機関に直接連絡を取り同行訪問を行ったり、支援会議へ参加するなど、意図的・継続的な関わり方をすることができました。 ●昨年度、相談実績が減少した事を受け、社協職員一人ひとりが相談窓口であるという認識を徹底し、今年度は5件増加となりました。 ●いただいたご相談やお問合せ内容に応じて、継続的に相談支援を実施する事で、1回では解決しない問題に対して、複合的にアプローチする事ができました。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な相談内容に適切に対応できるようスキルアップを行い、相談支援事業の資質向上に努めています。 				

	<ul style="list-style-type: none"> ●相談者は社協に何らかのかかわりのある方からの相談が多かったため、今後は積極的に地域へ出向く機会を作り、地域住民からの困りごとを直接キャッチできる仕組みづくりをしていく必要があります。 ●今後も社協職員一人ひとりが担当の枠を超えて、地域住民のあらゆる疑問や不安に対する相談窓口であるという意識をもつ必要があります。
--	--

7-③. 成年後見制度に関する事業

事業目的	<p>認知症、知的障がい、精神障がいなどにより、判断能力が不十分な方々の権利を擁護することが、成年後見制度の目的です。</p> <p>当協議会では本制度の普及啓発とともに、法人が後見受任を行う体制づくりや、住民の後見活動や親族後見のサポートができる体制づくりに取り組んでまいります。</p>
社協が行う 法人後見の メリット	<ul style="list-style-type: none"> ●長年にわたり地域福祉の推進を担ってきた経験を活かし、組織による対応で支援ができます。 ●他業務との兼務で担当職員を配置しているところがほとんどで、日常生活自立支援事業もしくは生活福祉資金等との兼任が多く、複合的な課題を抱えた方に対する有効な支援として期待されています。 ●法人による組織的な事務管理体制により安全性・信頼性を高めることができるとともに、長期間の後見業務を継続して遂行できます。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●現在受任体制がある社協、法人後見受任体制の構築を計画している社協共通の課題は、職員の知識・スキル不足があります。今後、県域での職員研修の実施を要望するところが多くあります。 ●後見業務を受任する方のほとんどが経済的困窮者であることから、後見報酬のみでは事業運営は不可能であり、長期にわたり安定的な体制を維持するためにも財源の確保が大きな課題となっています。 ●ひとり暮らし世帯や認知症高齢者等の増加が急速に進行することによる、後見希望者の増加が予想され、できる限り早い段階での体制整備を進めていくことが必要です。 ●後見希望者の増加が予想されるなか、今後親族後見の受任件数も増加していくことが予測され（割合は減少傾向）、親族後見人のサポート体制を構築していくことが必要です。 ●今後も、法人後見担当職員の養成を主な目標にしつつ、後見制度の普及啓発・親族後見人の支援活動を進めていきます。

7-④. 日常生活自立支援事業（権利擁護）

事業目的	判断力が十分ではない高齢者や障がい者に対し、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理を通じて、安心した生活を送れるよう支援することを目的としています。
------	---

令和元年度 事業実績	対応人数：20人 支援回数：平均20回／月				
		来所	電話	訪問	合計
	利用者	55	370	265	690
	関係機関	237	558	184	979
平成30年度 事業実績	対応人数：18人 支援回数：平均15回／月				
		来所	電話	訪問	合計
	利用者	33	346	71	450
	関係機関	165	485	46	696
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●民生児童委員1名、前民生児童委員5名、サポーター2名、その他3名の計11名の支援員で対応しております。 ●障がい者生活支援センターをはじめとする関係機関との連携により相談件数は増加しています。又、令和元年度より全市町社協へ事業移管されたことに伴い、相談件数は大幅に増加しており、今後さらにその傾向は加速していくことが想定されます。 ●中には就労をしている利用者もあり、夕方や夜間にも対応しています。 ●ケース会議への参加による関係機関との連携、地域とのつながりも視野に入れた支援を積極的に行いました。 				
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●今後、契約件数が増加することが予測されることから、担い手となる生活支援員の発掘・確保に努めます。 ●個々のニーズへの対応が増加する一方で、助成額は減額傾向です。支援の質の向上や財源確保に向けた整備が必要です。 ●成年後見制度への移行を検討しなければいけないケースに対し、スムーズな移行が支援できるよう取り組みの拡充に努めます。 				

7-⑤. 生活困窮者自立支援事業

事業目的	専門の支援員が相談者に寄り添いながら一人ひとりの状況に合わせた支援プランの作成や、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行います。				
令和元年度 事業実績	家計改善支援2件				
		来所	電話	訪問	合計
	利用者	10	63	32	105
	関係機関	24	102	7	133
平成30年度 事業実績	家計改善支援2件				
		来所	電話	訪問	合計
	利用者	29	68	23	120
	関係機関	28	147	14	189

事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●三重県生活相談支援センター（県社協）と協働し、緊急措置後も生活困窮者への支援を行い、制度へのつなぎや就労、家計の見直し支援をおこないました。 ●家計改善支援事業を2件受けました。うち1件は家計改善支援を継続するなかで貯蓄額の増加、利用者自身で家計管理ができるようになってきています。 ●家計改善支援にとどまらず県社協と連携するなかで就労、年金申請、民生委員との連携など生活全般をとりまく支援に努めました。 ●家計改善支援にすぐには結びつかない状況ではありますが何らかの支援が必要と判断された対象者は三重県生活相談支援センター（県社協）から早期に情報提供を受け、同行訪問をおこなうなどし、地域での生活課題や状況把握に努めました。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●困窮者の中には複数の問題を抱えている家庭が多く、児童、障がい、高齢分野など多職種・他機関との連携強化、協働が今後ますます求められます。 ●当事者が孤立することなく自立へとすすめるよう、継続的な支援、地域での支えあいや見守りができるしくみづくりに努めます。 ●家計改善支援事業の受託件数が昨年度に比べ2件減少した為、それに伴い相談実績数としては減少しました。家計管理は困窮者支援のなかでも重要な部分を占め、必要性の高い対象者はみられるものの、家計改善支援と結びつく件数は伸び悩んでいます。家計管理の必要性を理解してもらう為にも、自立相談支援事業と併せて、家計改善支援事業の広報・啓発にも努めていく必要があります。 ●複合的な課題を抱えた世帯が多いため、分野や機関を超えた連携が必要です。令和2年度より受託する明和町生活困窮者自立相談支援事業等において、速やかに介入できる相談支援体制づくりを今後もすすめていきます。

7-⑥. みえ福祉の「わ」創造事業

事業目的	<p>現在、生活保護受給者ではないが生活保護に至る可能性のあるもので、経済的に困窮し最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある方に対し、緊急的に食料支援や物品等の支援、就労活動にかかる交通費の助成支援をおこない、自立・再建の支援を目指します。</p>		
事業実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">令和元年度</td><td style="width: 75%;"> 食糧支援：5世帯（5回） 緊急支援：0件 就労支援：0件 </td></tr> </table>	令和元年度	食糧支援：5世帯（5回） 緊急支援：0件 就労支援：0件
令和元年度	食糧支援：5世帯（5回） 緊急支援：0件 就労支援：0件		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">平成30年度</td><td style="width: 75%;"> 食糧支援：2世帯（2回） 緊急支援：0件 就労支援：0件 </td></tr> </table>	平成30年度	食糧支援：2世帯（2回） 緊急支援：0件 就労支援：0件	
平成30年度	食糧支援：2世帯（2回） 緊急支援：0件 就労支援：0件		
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●三重県生活相談支援センター（県社協）と協働しながら、その他関係機関との連絡・調整を図り困窮者支援に取り組みました。 ●緊急支援実施後も生活相談支援センターとの情報共有を図り、依頼があった場合には同行訪問をする体制も整えてきました。 		

	●また複合する課題に対して日常生活自立支援事業や地域福祉金庫貸付事業等を活用し、継続的に支援する事で生活安定の為の支援に取り組みました。
今後の課題	●緊急的な支援にとどまるのではなく就労支援や家計改善支援など早い段階から積極的なかかわりを進め、生活の立て直しができる支援体制づくりが必要です。 ●困窮から抜け出すことができない方々の早期発見ができるよう、地域でのつながりづくりの強化、ネットワークづくりの構築が求められます。

7-⑦. 生活福祉資金の貸付

事業目的	資金の貸付と必要な援助や指導を行うことにより、その経済的自立や生活意欲の助成促進、在宅福祉や社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援します。			
令和元年度 事業実績	貸付実績	種類	貸付数(件)	貸付額(円)
		コロナ特例緊急小口	2	400,000円
	相談実績	教育支援資金 就学支度費	1	266,000円
		来所	電話	訪問
	利用者	15	53	14
	関係機関	5	83	3
平成30年度 事業実績	貸付実績	種類	貸付数(件)	貸付額(円)
		福祉資金 福祉費	1件	76,000円
	相談実績	教育支援資金 就学支度費	1件	136,000円
		来所	電話	訪問
	利用者	5	48	24
	関係機関	5	121	6
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度は2件あがりました。貸し付けに至るまでの関わりだけでなく、貸し付け後も途切れることない支援・見守りをしています。 ●相談は受けたものの要件が合わず貸し付けに至らなかったケースもありましたが、他の支援方法はないかと一緒に考え、関係機関に問い合わせをしたりつないだりして、問題解決を図りました。 ●償還が滞っているケースについては県社協と連携し、対応策を検討・整理し、滞納者との面談も実施しました。 			
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●本制度の利用者は単に貸し付けだけで解決できるケースではありません。自立支援機関との連携強化が求められていることからも、貸し付け段階から償還が終了するまで、孤立することのない継続的支援、経済状況の早期立て直しに取り組む必要があります。 			

7-⑧. 地域福祉金庫の貸付

事業目的	生活困窮者が生活を営む中で、不時の出費を必要とする場合に貸し付けることにより、円滑な社会生活をおくれるように支援します。				
事業実績		前年度 未償還額 (円)	貸付数 (件)	貸付額 (円)	償還額 (円)
	令和元年度	258,000	11	222,000	248,000
	平成30年度	198,000	13	263,000	203,000
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●貸付だけで終わらせるのではなく、関係機関と連携して継続的な自立に向けた支援に取り組んでいます。 ●今後も継続的支援のなかで利用者との信頼関係を強め、自立促進と未償還額の増加防止に努めます。 				

8. 福祉教育に関する事業

8-①. umouプロジェクト

事業目的	使用しなくなった羽毛製品を、貴重な資源として再生させるため、地域の人々が小学校の廃品回収時などに寄付し、小学生と「ありんこ」利用者が協力して回収作業を行うことで、地域住民も、小学生も、「ありんこ」利用者も、同じ地域で暮らす住民として、つながりを感じてもらえる一つの場となればという想いを持っています。 また、回収された羽毛製品をエコランドが買取り、募金として赤い羽根共同募金へ募金、もちろんその募金は小学校へ配分し子供たちが自分たちの福祉活動に使っていたことでさらなる福祉教育の充実になります。 さらに、羽毛製品の解体を「ありんこ」利用者が行うことにより、障がい者の就労支援にもつながっています。						
事業実績		小学校分			地域分		合計 (枚)
		1kg 以上	1kg 未満	ダウンジ ャケット	1kg 以上	1kg 未満	ダウンジ ャケット
	令和 元年度	40	9	38	24	4	27
	平成 30年度	27	6	30	25	15	25
							142
							128

事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●各スーパーで、新聞、アルミ缶等の回収ボックスが出来たことで、小学校が実施する資源回収の回収物が減少して、回収の担い手として必要性が薄れています。小学校では、資源回収とは別に校内で回収物の受付を常設する学校もあります。 ●羽毛製品の回収は、昨年度より多く回収されています。また回収条件に満たないダウン不足の製品の回収が昨年度より減っています。 ●県内で羽毛回収をしている社協の中でも、学校の廃品回収と一緒に協力して実施している市町は明和町のみであり、回収量としては多くはありませんが、毎年一定の枚数を回収できており、地域に定着してきています。 ●資源回収の回収物の減少によって、活動時間が短縮しており、ありんこ利用者さんと地域の皆さんがかかわる時間も少なくなっています。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●毎年 PTA 役員の方は交替するので、資源回収時に羽毛製品を集めることが赤い羽根共同募金に繋がるという効果的なPRが今後も必要です。 ●ありんこ利用者さんと地域の皆さんとのかかわりについて、資源回収時だけではなくかわりを持つまでには至っていない、双方のかかわりという点で新しい展開を考える必要があります。

8-②. 福祉協力校の設置

事業目的	小・中学校の児童・生徒に地域住民との交流など、福祉体験活動や、ボランティア活動を進めることで、さまざまな人々と自然に交流できる態度や、地域福祉への関心を育みます。
事業実績	<p>大淀小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者施設を訪問し、昔の遊びで交流し、合奏・合唱を披露、高齢者から手作り雑巾贈呈の交流活動 ・地域の高齢者と交流（運動会、学習発表会、1年生児童と高齢者が昔遊びで交流） ・「花いっぱい運動」実施、入学式・卒業式の式場を飾る ・ボランティアの方々の指導による卒業制作「はにわ作り」を実施 ・4年生児童が点字、アイマスク、白杖、車椅子体験実施 ・「見守り隊（学校支援ボランティア）に感謝の気持ちを伝える会」実施 ・学校だより、学年だよりでの広報活動（花いっぱい運動、アイマスク・白杖・車椅子体験・点字体験、卒業制作、見守り隊に感謝の気持ちを伝える会） ・子ども会へUMOUプロジェクトの還元 <p>上御糸小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がいのある方を招き盲導犬、ろう者について講演を実施し、障がい者への理解を深める。 ・学年・学校通信で活動紹介 ・特別支援学校に在籍する児童を迎えて交流学習を実施 ・地域の保育所を訪問し年長児と交流

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々と交流（餅つき、昔の遊び） ・環境委員によるリサイクル活動 ・陶芸家を招き保護者と作品作りを実施 ・社協福祉出前授業を実施（点字・アイマスク・白杖・車椅子体験） ・委員会と教師による担架を使用しての災害時・緊急時訓練を実施 ・環境美化活動（花を育て、自然を大切にする心を育む）
	<p>下御糸小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりと学級だよりにて諸活動紹介 ・3・4年生児童が祓川調査活動（水棲生物、環境保全） ・2年生児童が地域の高齢者施設を訪問、交流活動を実施 ・運動会、みいとフェスタ（すもう大会）へ地域の高齢者施設、その他地域の方々を招待 ・おじいちゃんおばあちゃんと昔遊びを楽しもう会実施 ・資源回収活動 ・校舎花壇の整備、花を育て入学式・卒業式の式場を飾る ・大根を育て、大根餅作り（1年生児童） ・ボランティアグループの指導による綿の栽培、綿くり・糸つむぎ体験（1年生児童） ・生き物たんけん（1・2年生児童） ・稻作体験（5年生児童） ・大杉での自然体験（5年生児童） ・お茶に親しもう（5年生児童） ・防犯ボランティアの方への感謝活動 ・UMO Uプロジェクトへの協力 ・町内小学校との交流学習・稻作体験 ・エコキャップ回収活動 ・町内小学校との交流学習
	<p>斎宮小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚に障がいのある方を招き盲導犬、ろう者についての講演実施 ・車椅子ランナーの方の講演会実施 ・学級だよりの発行 ・特別支援学校児童との交流 ・地域の高齢者の方と交流（1年生児童） ・地域の竹林整備ボランティアの方々と学習会、体験活動（4年生児童） ・地区探検と清掃活動（2年生児童、清掃活動） ・特別支援学級児童が花の栽培、明和の里へ「花の寄せ植え」寄贈 ・認知症サポーター講座を受講（4年生児童）
	<p>明星小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校新聞での活動紹介 ・児童、学校主催による講演会・映画会・展示会の実施

	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルキャップを回収しポリオワクチン交換活動への寄付 ・里山保存を行っている方々と体験活動（竹の伐採、水鉄砲づくり、秘密基地作り体験） ・いばらの葉の収穫、いばらまんじゅう作り（1年生児童） ・米作りを教わった地域の方々を招待しライスパーティーを開催（5年生児童） ・校内美化活動（花を植え、入学式・卒業式の式場に飾る） ・特別支援学校の児童を迎える交流学習を実施（4年生児童） ・来入児童と1日入学時に交流（5年生児童） ・昔の遊び道具作り（1年生児童） ・地域に住む視覚障がいの方を招き盲導犬、ろう者について講演実施
	<p>修正小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級通信、学校だよりにて活動紹介 ・地域の福祉施設を訪問し高齢者と交流活動を実施 ・JA、地域の方々と大豆作り、豆腐作り体験 ・地域の方に地域に伝わる祭りや昔のことについて学ぶ ・点字ボランティアグループの方々による点字学習を実施 ・地域の方を講師に招きカローリングやグラウンドゴルフで交流、コサージュづくりを実施 ・お世話になったボランティアに御礼と感謝を伝える ・全校児童で花を育て、入学式・卒業式の式場へ飾る ・エコキャップ収集、アルミ缶の回収 ・町内小学校との交流学習会を実施
	<p>明和中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁新聞にてボランティア活動紹介 ・子ども食堂に関する広報活動 ・赤い羽根共同募金の広報・啓発活動 ・鈴鹿市「アフリカの田んぼ」へ参加 ・校内美化活動（花壇の整備、みどりのカーテン） ・新校舎環境整備活動 ・斎王まつりの準備協力、参加（海外への寄付活動） ・イオン明和店で赤い羽根共同募金、ボランティア基金の呼びかけ活動に参加 ・社協「ふれあいまつり」にボランティアとして参加 ・「ふれあいレクリエーション」にボランティアとして参加
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の福祉施設への訪問や、地域の方々との積極的な交流を持つ活動をしていただいている。 ●地域のボランティアの方々との交流を通じ、感謝の心を育む活動をしていただいている。 ●障がいのある方の講演、交流する機会を作られ、障がいへの理解を深める学びの場をもたれています。

	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度立ち上った子ども食堂への参加・協力をされ、地域の子ども達の支援活動をしていただいている。 ●地域の方々と共に自然に触れる体験を通じて、地元の自然を大切にする心、郷土愛を育む活動に力を入れていただいている。 ●農業体験をはじめ、様々な体験を通して日常ではなかなか体験出来ない活動を積極的に取り入れ授業を行っていただいている。 ●世界の子供たちを支援する活動を通して社会貢献をしていただいている。 ●普段子供たちが接する機会が少ない方々を学校に招いて、子供たちの広い視野を育てる活動にも取り組まれています。
--	---

8-③. 福祉体験教室

事業目的	地域のボランティアグループや、障がいを持つ当事者の生の声を聞くことや、「体験」を通じて理解を深めていただくために、福祉体験教室を実施しています。相手の立場になって考えたり、共感したりすることのできる温かい心、ボランティアなどの社会貢献をしたいという心を大切にし、「ともに生きる力」を育むとともに、自立した個人が、互いにその存在を認め合い、関わりを大切にしながら生きていくという「地域共生社会」の考え方を大切にしています。また将来にわたって自分が住み慣れた地域の福祉に対する理解や関心を持ち、地域社会の中で一人の住民として成長することにより、自ら地域のネットワークづくりに積極的に関わろうとする意識を高めることを目的としています。			
事業実績	令和元年度	体験内容	小学校名	体験生徒数
		アイマスク・白杖・車椅子体験	大淀小学校 上御糸小学校	4年（14名） 4年（43名）
		高齢者疑似体験	斎宮小学校	4年（68名）
		点字体験	大淀小学校	4年（14名）
			上御糸小学校	4年（42名）
			斎宮小学校	4年（68名）
			修正小学校	3, 4年（16名）
	30年度	UD 高齢者疑似体験	大淀小学校 下御糸小学校	4年（19名） 4年（19名）
		車いす体験	明星小学校	4年（37名）
		アイマスク体験	修正小学校	4年（10名）
		点字体験	斎宮小学校	4年松・竹組（69名）
			修正小学校	4年（10名）

	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校 4 校から依頼があり、点字・アイマスク・白杖・車椅子・高齢者疑似体験を実施できました。 ● 当事者である地域住民の方や障がいの方と一緒に体験学習を実施し、相互に交流する機会を持ち、当事者の想いを知ることで障がいへの理解を学ぶ機会をつくることができました。 ● 今年度は当事者以外に地域のサポーター、民生委員にも参加・協力いただきました。
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 点字体験では、ボランティア団体の活躍と広報の場になり、ボランティア団体活動の活性化につながりました。 ● 今年度は、小学校以外に近鉄明星列車区で高齢者疑似体験、車椅子体験を実施することができました。 ● 近鉄明星列車区においても、当事者である障がい者との意見交換の機会を通じ、相互に理解する学びの場をもつことができました。 ● 福祉出前授業を通じて学校や子供たち、企業と社協とのつながりをもつことができました。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内各小学校で実施できるよう、PR活動を行っていきます。 ● 今後も当事者、社協サポーター、民生委員等の地域住民の協力を得ながら共に参加していただける体験授業を実施していきます。 ● 体験授業としては、一定の効果を感じていただける内容になっていますが、この体験を通じて学んでいただいた体験後の子どもたちの成長に合わせた、さらなる学びの機会につなげ、学校と継続したつながりが持てるよう工夫していくことが必要です。

8-④. ボランティア・サマースクール

事業目的	夏休み期間を利用して、小学生を対象にボランティア・サマースクールを実施しています。福祉施設等でボランティアを体験することで、思いやりの心を育むとともに、ボランティアを始めるきっかけづくりや、ふれあい、交流することにより、みんなが共に生きることを学ぶことを目的としています。			
事業実績	開催日数	参加人数	内 容	
	令和元年度	2日間	44名	明和手話サークルによる手話体験教室とおやつ作り
	平成30年度	3日間	18名	ありんこ利用者とおやつ作り えんがわ教室（4ヶ所）

事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●日頃、小学生が接することの少ない地域の聴覚障がい者との交流を通じ、手話の体験教室を開催することができました。 ●社協ふれあい祭でも活躍いただいた明和手話サークルにご協力いただき、地域の方と共に手話教室を開催する事が出来ました。 ●前年度までは前年から継続しての参加者が多かったですが、今年度は新規参加者がほとんどを占め、その中には子ども食堂の参加者も多く、子どもたちと社協とのつながりが少しずつ広がってきています。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も様々なボランティア体験を通じ、共生、思いやりの心を育める内容にしていく必要があります。 ●新規参加者等、より多くの子どもにボランティア体験をしていただけるよう内容の工夫と共にPR活動を行っていきます。

9. ボランティアセンター運営事業

事業目的	地域住民のボランティアに関する理解と関心を深めるとともに、個人ボランティアや団体ボランティアの育成及び活動の援助を行います。	
事業実績	令和元年度	<p>明和の里：117名（21回）</p> <p>ひまわり会：防災食を活用した研修（1回）</p> <p>明和町点字サークル：点字指導（小学校・人権センター・社協ふれあい祭り）（9回）</p> <p>おはなし小槌：大型紙芝居・絵本の読み聞かせ（ふるさと会館等）（16回）</p> <p>明和鈴の音会：広報めいわ録音（12ヶ月）</p> <p>『こんにちはボランティアさん』ナレーション（全2回）</p> <p>コーラス斎王：コーラスによる幼稚園・保育園等訪問・祭りイベントへの参加（7回）</p> <p>業平夢太鼓：太鼓演奏 福祉施設訪問・イベント参加（10回）</p> <p>ドンド花2：踊りによる施設訪問（3回）</p> <p>防災ボランティア・プラス1：視察研修・防災訓練参加 防災講座開催（11回）</p> <p>琴の葉：大正琴演奏 福祉施設・サロン訪問（16回）</p> <p>傾聴ボランティアミミちゃん：傾聴活動 福祉施設訪問（6施設190名）</p> <p>おたがいさん：食事のつどい（4回）</p> <p>生活支援・その他のボランティア（52回）</p>

	<p>Cherry：オカリナ演奏 福祉施設訪問（20回）</p> <p>Grape：オカリナ演奏 施設訪問（13回）</p> <p>横笛倶楽部：横笛演奏 福祉施設訪問（32回）</p> <p>明和マジッククラブ：施設訪問、イベント参加（48回）</p> <p>ご近所カフェ寺ス：サロン開催（42回延べ参加人数1,059名）</p> <p>アラピカケ：明和の里・えんがわ教室（8回）</p> <p>ギターと篠笛を楽しむ会：えんがわ教室（7回）</p> <p>カントリーハウス：えんがわ教室（8回）</p>
平成 30年度	<p>明和の里：170名（50回）</p> <p>ひまわり会：防災食を活用した研修（1回）</p> <p>明和町点字サークル：点字指導（小学校・人権センター・社協ふれあい祭り）（6回）</p> <p>おはなし小槌：大型紙芝居・絵本の読み聞かせ（ふるさと会館等）（20回）</p> <p>明和鈴の音会：広報めいわ録音（12ヶ月）</p> <p>「こんにちはボランティアさん」ナレーション（全1回）</p> <p>コーラス斎王：コーラスによる幼稚園・保育園等訪問・祭りイベントへの参加（8回）</p> <p>業平夢太鼓：太鼓演奏 福祉施設訪問・イベント参加（14回）</p> <p>ドンド花2：踊りによる施設訪問（8回）</p> <p>防災ボランティア・プラス1：視察研修・防災訓練参加 防災講座開催（9回）</p> <p>琴の葉：大正琴演奏 福祉施設・サロン訪問（13回）</p> <p>傾聴ボランティアミミちゃん：傾聴活動 福祉施設訪問（249名）</p> <p>おたがいさん：食事のつどい（4回）</p> <p>生活支援・その他のボランティア（147回）</p> <p>Cherry：オカリナ演奏 福祉施設訪問（31回）</p> <p>横笛倶楽部：横笛演奏 福祉施設訪問（33回）</p> <p>明和マジッククラブ：施設訪問、イベント参加（53回）</p> <p>ご近所カフェ寺ス：サロン開催（29回）</p> <p>アラピカケ：明和の里・えんがわ教室（12回）</p> <p>ギターと篠笛を楽しむ会：えんがわ教室（6回）</p> <p>カントリーハウス：えんがわ教室（7回）</p>

10. 一般介護予防事業

10-①. えんがわ教室

事業目的	65歳以上の高齢者が、要支援・要介護状態にならないように、必要に応じた介護予防のための事業利用を通じ、その居宅および地域において自立した活動的で生きがいのある日常生活を営むことができるよう支援します。						
事業実績	延べ人数 (実人数) (開催日数)	令和元年度 (154日)	大淀 ①	大淀 ②	上御糸 下御糸		合計人数 2,800 (151)
			452 (24)	532 (30)	247 (15)		
			いつき	勝 見	明星 ①	明星 ②	
			384 (21)	442 (22)	443 (24)	300 (15)	
	(開催日数)	平成30年度 (168日)	大淀 ①	大淀 ②	上御糸 下御糸		3,107 (161)
			533 (23)	538 (28)	282 (16)		
			いつき	勝 見	明星 ①	明星 ②	
			451 (28)	474 (25)	493 (25)	336 (16)	
事業評価	年齢 (歳)		65~74	75~79	80~84	85以上	合計人数
		令和元年度	11	41	56	43	151
		平成30年度	14	52	57	38	161
<ul style="list-style-type: none"> ●新規利用者申込者のほとんどが、現在利用されている参加者からの紹介によるものでした。また、地元の方の紹介もありました。 ●利用者の高齢化によりご家族の希望で介護保険事業所へ移行され、利用中止となつた方多くありました。 ●運動指導については、全会場の参加者から大好評です。年2回、体力測定を行い、理学療法士からの一言やアドバイスをいただきます。また、自宅で出来る運動プログラムも実施し、理学療法士の指導がない日には、職員指導で簡単な運動も行いました。 							

	<ul style="list-style-type: none"> ●口腔衛生指導では歯磨きの仕方は勿論、口の中の細菌測定や舌の掃除、認知症と摂食障害の関係を学びました。食事の前には、唾液腺マッサージを行い、嚥下を助ける効果を実感しました。 ●栄養指導では、美味しく楽しく食べて元気に！をモットーに、メタボリックシンドromeの予防のため、バランスよく食べる事を学びました。各利用者が自分の10日間の食事を記録し、何の栄養が不足しているか講師よりアドバイスいただきました。また、後半の2回は調理実演を行い、和菓子とカップケーキを作りました。 ●今年度から、音楽療法をプログラムに取り入れました。リズムに合わせ歌や手遊びを同時にい、脳トレ的な部分もありました。4会場で行いましたが、各教室とも大変好評で1時間があっという間に過ぎ、開始時は歌声が小さかった方も終盤には大きな口を開け、笑顔で参加されていました。 ●脳トレとしては、簡単な計算・数字盤などを行い、毎回時間を測定しました。数字盤は好評でした。 ●その他、地域の各種ボランティアの方々の協力もいただき、地域の方との交流を持つことで、楽しく教室を進めることができました。 ●今年度に関して、2月から発生した新型コロナウイルスの影響で、3月開催予定の各教室が2回ずつが中止になりました。利用者の皆様には電話で、体力低下にならないよう、日頃行っている体操を継続していただく事や規則正しい生活を行って免疫力をつけていただくようお話しをしました。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●参加者の機能向上、意欲向上が期待できるような内容のプログラムを作っていくます。また、内容がマンネリ化せず、楽しみながら介護予防につながるプログラムとなるよう、工夫が必要です。 ●会場によって、参加者の数、年齢に幅があるため、その会場の参加者にあった内容のプログラムを作っていくます。 ●参加者の殆どが女性で、男性は1割にも満たない状況です。男性も参加したくなるような内容の工夫や宣伝を考えていきます。 ●参加者の中には要介護に近い方もおり、えんがわ教室への参加を続けるか、介護保険への移行をすすめるかという判断が必要です。 ●現在2便の送迎を行っていますが、今後送迎が必要な参加者の希望があった場合、送迎方法の検討が必要です。

10-②. 筋力・脳力あっぷ教室

事業目的	65歳以上の方を対象とした理学療法士による筋力運動や指導員による脳トレーニングに特化した教室です。早期の段階から身体機能、認知機能の向上、人との交流、に取り組むことで、できる限り自宅で自立した日常生活が続けられることを目的としています。
------	--

11. 介護予防・生活支援サービス事業

11-①. 通所型サービスC（おとなチャレンジ教室）

事業目的	生活機能を改善するための運動器の機能向上や栄養改善、口腔指導、認知機能等のプログラムを実施します。					
事業実績		開催日数	延べ人数(実人数)			
			男性	女性	合計	サポーター数
	令和元年度	37日	114 (37)	337 (103)	451 (140)	248 (85)
	平成30年度	40日	273 (89)	228 (72)	501 (161)	290 (105)
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●令和2年3月の教室開催について、新型コロナウイルス感染予防対策の為開催中止としました。3月に実施予定であった体力測定・アンケートについては令和2年度の筋力・脳力あっぷ教室再開時に実施する予定としています。 ●おとなチャレンジ教室卒業後の進路について、今年度でおとなチャレンジ教室は終了となる為、2クール目16名のうち15名が一般介護予防教室（筋力脳力あっぷ教室）へ移行し、1名は自宅療養し訪問看護や通院にて病気の治療を行うこととなりました。 ●運動指導では、後半からグループ分けを行い、利用者とサポーターが円になり声を掛け合い積極的に身体を動かすことが出来ました。腕を上げると痛みがあった利用者が腕をあげられるようになる、歩行のペースが速くなるなど改善がみられました。 ●口腔指導では、新規参加者を中心に毎回15～30分の個別指導を実施しました。唾液腺マッサージの位置を間違っている利用者が多く、個別指導にてきめ細やかな対応をすることで口腔内の状態改善につながりました。 ●栄養指導では、ひとり暮らしの利用者が多かったこともあり電子レンジを使用した簡単なレシピを提供しました。材料をアレンジし自宅で作る利用者も多くいました。 ●脳トレでは毎回、音読・計算・数字盤より2つを実施しました。今年度は脳トレ時間の短縮もあり、3つ全てを実施することは出来ませんでしたが実施記録より認知機能の維持・向上しています。また、脳トレを継続して行う大切さを学んでもらうことが出来ました。 					
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●来年度からおとなチャレンジ教室が終了となり、ほとんどの利用者が筋力・脳力あっぷ教室へ移行となります。筋力・脳力あっぷ教室でも栄養指導・口腔指導を取り入れていくことを検討していきます。 ●筋力・脳力あっぷ教室ではおとなチャレンジ教室のように個別に話を聞く時間を取っていない為、多職種間の連携を密にし状態を把握し対応していく必要があります。 					

事業実績		開催日数	延べ人数（実人数）				
			男性	女性	合計	サポーター数	
	令和元年度	127日	670 (203)	1,543 (458)	2,213 (661)	284 (149)	
	平成30年度	136日	938 (185)	2,007 (396)	2,945 (581)	376 (107)	
		<ul style="list-style-type: none"> ● 今年度よりすべてのコースで週1回となったことで、交流の機会が減少する事を防ぐためサロン活動の紹介やサポートを行いました。 ● 令和2年3月の教室開催について、新型コロナウイルス感染予防対策の為中止としました。3月に実施予定であった体力測定・アンケートについては令和2年度の教室再開時に行う予定としています。 					
事業評価	<p>【筋力あっぷ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運動指導「立ち座り」では、2月より教室ごとに、火曜コースは20回から35回、木曜日コースは15回から25回、金曜日コースは20回から30回へと回数を増やし、徐々に負荷をかけ無理のない筋力アップを行うことが出来ました。 ● 家庭での運動については散歩している人が多くいました。その他に「運動指導の体操を自宅にて行いたい。」「運動指導の体操が思い出せない為、イラストの付いたパンフレットが欲しい。」という意見がありました。今後は自宅でも簡単に行える体操をまとめ、必要な方に配布できるよう周知していきます。 						
	<p>【脳力あっぷ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 脳トレ（音読・計算・数字盤）に加え、間違い探しやクロスワード、漢字などの脳トレプリントを毎回実施しました。笑いヨガや歌・身体を使ったレクリエーションも取り入れました。 ● 脳トレプリントに関しては家に持ち帰り家族で解いてみる、自分で脳トレ問題を作ってみるなど、教室だけでなく自宅での脳トレ時間増やすことにつながりました。 						
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者からは「家で一人ではない。みんなと一緒に出来る。」「ここにきてみんなと会えるのが一週間の楽しみ。」など利用者同士の交流を目的としている意見もあり、交流がしやすい雰囲気・話題作りをしていく必要があります。 ● グループが固定化しており、新規利用者が入ってもなかなか仲間に入りづらい雰囲気があるようです。仲の良いグループを分けることに不評もありますが、出来るだけ多くの利用者同士が交流の機会をもてるようにしていきます。 ● 1教室の定員30名ですが、火曜日コースは定員一杯、木曜日コースに関しては参加者27名で、おとなチャレンジ教室卒業後の参加者が多く、サポーターの存在が欠かせません。サポーターとの情報共有を密にし参加者の安全・安心の確保していく必要があります。 						

	<p>●おとなチャレンジ教室から移行される方と筋力脳力あっぷ教室既存の利用者の間には運動・脳トレともに差がある為フォローが必要です。個別対応が必要な場合もあり、利用者全員の安心・安全を確保していくことが必要です。</p>
--	--

12. 地域生活支援事業（障害者総合支援法）

12-①. 手話奉仕員養成研修事業

事業目的	手話を第二言語として自然な形で習得できる指導方法（直接教授法「ナチュラル・アプローチ」）を用いて奉仕員を養成し、聴覚障がい者などへの理解を深めるとともに、明和手話サークルと協働し、聴覚障がい者の社会参加を援助する人材の育成を目的としています。	
事業実績	令和元年度	基礎過程 開講日数：全30回 名簿登録人数：8名 8割以上の講座受講者：4名
	平成30年度	入門過程 開講日数：全23回 名簿登録人数：10名 8割以上の講座受講者：5名（基礎課程移行者：8名）
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ●前年度の入門課程からの受講者8名を対象に基礎課程を実施しました。 ●受講者が少ないこともあり、受講者の習得度に合わせて復習時間を取りていただく事で、記憶を定着させることが出来ました。 ●講義では、「障害者福祉の基礎」、「聴覚障害者活動と聴覚障害者福祉制度」で講師を招き、専門的な立場から講義を受けました。 ●今年度の新たな活動として、教室を飛び出し町内のろう者と一緒に明和町内の史跡を巡り、手話で交流を深めるという貴重な体験をしました。 ●2年間の手話奉仕員養成講座の集大成として、講座の最終日に『2年間手話を学んで』と題し、手話スピーチを行いました。 	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ●前期と比較すると本期の受講者が少なかったので、新年度からの受講者の募集方法の再検討が必要です。 ●本講座終了後のステップアップ講座が明和町内にはないため、継続学習できる機関が必要です。 	

II. 令和元年度（平成31年度）各事業利用実績

1. 居宅介護支援事業プラン作成実績

(実人數：人)

提供月	要支援1			要支援2			事業対象者 ケアマネジメントA	予防+A合計 ケアマネジメントA	居宅介護支援					介護合計	総合計
	予防	ケアマネジメントA	予防	ケアマネジメントA	要介護1	要介護2			要介護3	要介護4	要介護5				
4月	0	6	15	18	1	40	60	57	26	21	8	172	212		
5月	0	9	17	16	11	53	61	54	27	19	8	169	222		
6月	0	8	16	18	10	52	61	55	27	19	10	172	224		
7月	0	9	18	16	9	52	61	56	26	18	12	173	225		
8月	1	7	16	16	9	49	60	54	26	17	11	168	217		
9月	1	8	15	16	8	48	62	54	26	18	10	170	218		
10月	1	9	16	15	12	53	65	58	27	18	10	178	231		
11月	1	9	14	18	12	54	64	55	27	16	9	171	225		
12月	1	10	13	18	12	54	66	56	26	18	10	176	230		
1月	1	10	16	16	12	55	62	51	27	18	12	170	225		
2月	1	9	18	16	12	56	57	53	27	18	11	166	222		
3月	1	6	18	15	1	41	60	47	31	18	10	166	207		
合計	8	100	192	198	109	607	739	650	323	218	121	2,051	2,658		
30年度	12	161	80	231	101	585	736	562	313	194	168	1,973	2,558		

2. 高齢者通所介護事業利用実績

(延人数：人)

提供月	稼動日数	総合事業		介護サービス				合計
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	
4月	22	4	58	213	234	116	46	42
5月	23	2	55	236	231	127	59	28
6月	20	4	50	232	184	143	53	39
7月	23	4	58	268	214	155	83	62
8月	22	4	41	249	196	145	72	50
9月	21	4	40	237	178	151	91	43
10月	23	5	55	280	205	158	90	49
11月	21	4	50	243	153	170	66	42
12月	21	2	45	221	143	181	63	46
1月	20	3	39	238	135	147	70	34
2月	20	0	40	238	127	126	62	30
3月	22	0	51	288	116	139	69	33
合計	258	36	582	2,943	2,116	1,758	824	498
30年度	256	0	736	2,405	2,728	1,449	501	530
								8,349

3. 障がい者福祉サービス事業（ありんこ）利用実績

4. 地域活動支援センター事業利用実績

(延人数:人)

提供月	稼働日数	生活介護	就労継続 支援B型	合 計
4月	22	540	550	1,090
5月	23	570	577	1,147
6月	20	500	516	1,016
7月	23	579	599	1,178
8月	22	530	538	1,068
9月	21	513	536	1,049
10月	23	557	533	1,090
11月	21	519	499	1,018
12月	21	517	485	1,002
1月	20	498	458	956
2月	20	481	455	936
3月	22	526	506	1,032
合 計	258	6,330	6,252	12,582
30年度	256	6,370	6,144	12,514

• 日中一時支援事業
(延人数:人)

提供月	障がい者	障がい児	合 計
4月	0	8	8
5月	0	8	8
6月	0	8	8
7月	0	6	6
8月	0	6	6
9月	0	7	7
10月	0	10	10
11月	0	8	8
12月	0	5	5
1月	0	6	6
2月	0	5	5
3月	0	2	2
合 計	0	79	79
30年度	0	92	92

5. 指定特定相談支援事業所サービス等利用実績

(実人數:人)

提供月	特定相談支援		障害児相談支援		合計
	利用支援	継続支援	利用支援	継続支援	
4月	17	15	8	12	52
5月	13	21	9	7	50
6月	13	25	3	11	52
7月	16	21	10	5	52
8月	15	30	10	7	62
9月	12	31	10	9	62
10月	19	23	11	9	62
11月	13	26	8	11	58
12月	14	30	11	6	61
1月	16	37	7	10	70
2月	7	28	6	9	50
3月	17	26	11	10	64
合計	172	313	104	106	695
30年度	160	253	91	84	588

